

各位

特定非営利活動法人レインボーハートokinawa
理事長 竹内 清文
(沖縄県性の多様性に関する理解促進に向けた啓発業務 事務局)

医療関係者向け性の多様性尊重研修(沖縄県医師会共催)のご案内(要申込)

平素は当法人の活動にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。
さて、当法人は本年度沖縄県「性の多様性に関する理解促進に向けた啓発業務」を受託し、その業務の一環として、沖縄県医師会様との共催で医療関係者の皆様を対象に、性の多様性尊重研修を実施させていただくこととなりました。
沖縄県は令和7年3月から「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」をスタートし、法的に婚姻が認められていない戸籍上同性のカップルや、様々な事情により、婚姻の届出をしない、あるいはできない事実婚のカップルなどが抱える生きづらさや困りごとが少しでも解消されるよう支援しています。
本研修は、医療関係者が性の多様性や「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」等の理解を深め、LGBTQ当事者の困りごとを知り、当事者も安心して利用できる医療サービスのあり方を考えることを目的に実施いたします。
つきましては、ご多忙とは存じますが是非ご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

研修概要

- ①目的
医療関係者が性の多様性や沖縄県パートナーシップ・ファミリーシップ制度等の理解を深め、LGBTQ当事者の困りごとを知り、当事者も安心して利用できる医療サービスのあり方を考える機会とする。
- ②日時
令和8年2月5日(木) 18時30分～20時30分
- ③会場
沖縄県医師会
- ④実施体制
主催: 沖縄県 共催: 沖縄県医師会
実施運営: 特定非営利活動法人レインボーハートokinawa
- ⑤座長
沖縄県医師会 会長 田名 毅
- ⑥講師
・山本クリニック院長 山本 和儀 氏
・特定非営利活動法人レインボーハートokinawa 理事長 竹内 清文(LGBTQ当事者)
- ⑦内容
LGBTQや性の多様性の知識、性同一性障害・性別不合の診療の実情、パートナーシップ・ファミリーシップ制度の概要、当事者医療機関受診時の困りごと、医療機関として期待される診療・産業保健の取組み 等
- ⑧研修参加費 : 無料



申込方法

本研修会はお申込みが必要です。いずれかの方法でお申し込み下さい。

※いただいた情報は本研修運営以外の目的で使用しません。

- ①左QRコード
- ②FAX(3ページ目にフォーム) 沖縄県医師会庶務課行き FAX番号 098-888-0089
- ③メール rainbowheartokinawa@gmail.com 担当: 竹内 清文
※ご記入事項 (1)所属医療機関 (2)職種 (3)お名前 (4)メールアドレス

【お問合せ先】

特定非営利活動法人レインボーハートokinawa 担当: 竹内 清文
rainbowheartokinawa@gmail.com ホームページ <https://rainbowheartokinawa.com/>



タイムテーブル(予定)

開会	沖縄県医師会 田名毅会長 開会ごあいさつ	5分
第一部	「医療機関に求められるLGBTQ+の理解と対応～医学・臨床・産業保健の視点から～」 山本クリニック院長/ EAP産業ストレス研究所所長 山本 和儀 氏	50分
休憩		10分
第二部	「性の多様性とLGBTQ当事者も安心して利用できる医療サービスに向けて」 特定非営利活動法人レインボーハートokinawa 理事長 竹内 清文	50分
閉会	沖縄県医師会 田名毅会長 閉会ごあいさつ ・ アンケート記入	5分

第一部 講師

山本 和儀

やまもと かずよし



鹿児島県与論町出身。1981年熊本大学医学部卒業後、母校等での研修を経て、沖縄県立宮古病院勤務。琉球大学医学部精神神経科・講師及び医学部附属病院総合診療センター副センター長を経て、2004年にEAP産業ストレス研究所を設立し、浦添市に心療内科・精神科の山本クリニックを開設。

官公庁民間企業の産業医、中央労働災害防止協会メンタルヘルス指針モデル事業の外部支援専門家、沖縄県教育委員会・健康管理審査委員会委員、沖縄労働局地方労災医員、沖縄産業保健総合支援センター産業保健相談員(メンタルヘルス担当)などを通して職場のメンタルヘルス活動に取り組んでいる。沖縄県医師会では、1993年から産業医研修会の講師、次世代の健康推進事業検討委員会委員(副読本『こころのタネ』作成班長)、沖縄県医師会産業医部会委員、外国人医療対策委員会委員に就任。

沖縄県精神科診療所協会会長、沖縄県精神保健福祉協会理事、浦添市医師会理事、琉球大学医学部・沖縄県立看護大学非常勤講師(性同一性障害・性別不合)、GI(性別不合)学会認定医・理事、日本産業精神保健学会理事(ダイバーシティとインクルージョンを推進する委員会委員長等)。

第二部 講師

竹内 清文

たけうち きよふみ



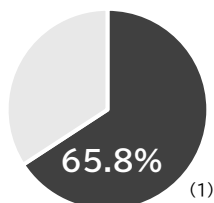
沖縄県在住、岡山県津山市出身、1977年生まれ
元JICA国際協力機構職員。
北海道大学文学研究科修士課程修了。
2021年2月16日 特定非営利活動法人 レインボーハートokinawa 設立

ゲイの当事者として悩み多き幼少～青年期を過ごす。大学院卒、JICAへ就職するも突然の体調不良で余儀なく退職。その事を機に、自身の心を大切に生きる必要性を学ぶ。こども達の命や心、可能性を守る事にも繋がる今のLGBTQ・性の多様性の啓発活動へと繋がっている。「LGBTQ・性の多様性」をテーマにした講演会を全国延べ600校以上の小・中・高・大・特別支援学校にて実施。教職員研修・教育委員会主催研修120回以上。教育分野以外にも、自治体職員研修、企業・一般向け講演等も実施。

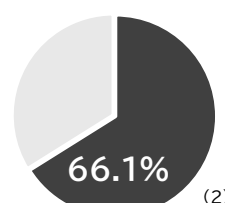
- ・沖縄県性の多様性検討委員
- ・浦添市男女共同参画審議会委員
- ・琉球新報読者と新聞委員会委員
- ・沖縄キリスト教学院大学「国際関係論」非常勤講師

日本のLGBTQ当事者現状

死ねたらと思った
自死の可能性を考えた



医療サービス利用時の
セクシュアリティに関する
困難経験(過去10年)



医療機関 困りごとの例 (3)

- ①パートナー入院時、病室での付き添いや看護をさせてもらえなかった。
- ②受付で戸籍上の名前が呼ばれるため、受診しづらくなった。
- ③生殖機能を除去していないトランスジェンダーの場合、見た目の性別と身体的な性別が違うことも多く、奇異な目で見られる。受診の際に説明が難しく、受診自体を断念してしまう。病気がかなり悪化してから受診することが多い。

(1) 埼玉県「多様性を尊重する共生社会づくりに関する調査」令和3年2月 (2) 認定NPO法人ReBit「LGBTQ医療福祉調査2023」令和5年3月
(3) 性的指向および性自認等により困難を抱えている当事者等に対する法整備のための全国連合会「性的指向および性自認を理由とするわたしたちが社会で直面する困難のリスト(第3版)」令和元年3月

宛先：沖縄県医師会 庶務課 行き
FAX：098－888－0089

令和7年度 性の多様性に関する理解促進に向けた啓発業務

性の多様性尊重研修 申込FAXフォーム

日時：令和8年2月5日（木）18時30分～20時30分

会場：沖縄県医師会

1	所属医療機関	
2	職種	
3	お名前	
4	電話番号	